

第 4 8 号

令和元年11月15日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

運動会 令和もつなぐよ 地域の輪

豊津小6年 立野美紅さん の作品

豊津ふれあい運動会を終えて

大会長
(豊津小学校長) 平賀 康意



14回目を数える豊津ふれあい運動会が、多数のご来賓を迎え、盛大に挙行できましたこと、ご協力いただいた保護者、地域の皆様に感謝申しあげます。

今回は、台風の影響で順延を余儀なくされましたが、多くの方に支えられ、本校児童も地域の方々も楽しく活動することができました。午後からの種目は降雨により体育館での開催となり、一部種目ができませんでしたが、この豊津地区の運動会が、今後も学校と地域のふれあいの場として、末永く続いていく素晴らしい行事であることを再確認することができました。

元気をもらえて、皆さんに感謝！

副大会長
(まちづくり委員長) 和田 勉



待ちに待った豊津ふれあい運動会は、台風19号の影響で実施が危ぶまれましたが、順延という形で実施することができました。

当日は、午後から雨の可能性があるにもかかわらず、校庭を埋め尽くす多くの参加をいただきました。競技の中で子どもたちは、練習の成果を一生懸命披露してくれました。私は、子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

開催に向けて段取りをしていただいた役員、参加された皆様に感謝申し上げます。

豊津地区の一大イベントである『豊津ふれあい運動会』は、台風十九号の影響により、当初予定から二日順延して十月十四日に開催しました。

いつも通り、午前中は小学生の種目を中心に、午後は地域のふれあいの場として実施する予定でしたが、お昼前に降り出した雨が強かったため、午前のプログラムが終了した時点で、体育館へ会場を変更。体育館の中でできる種目を選び、子どもたちや地域の方たちと笑顔でふれあう時間を過ごしました。

なお、注目の区対抗は、最終種目のリレーが不成立でしたが、役員の協議により、玉入れと綱引き2種目の点数で決定し、新田区が優勝となりました。

チーム一丸となって頑張りました！

(写真右)
玉入れの部 優勝
爪木Bチーム ⇨

(写真下)
綱引きの部 優勝
新田チーム ⇩





▲今年のクイズチャンピオンは、豊津小6年の浅間菜々美さんでした。おめでとうございます。



▲空に届くような元気いっぱいの開会のことば。良くできました！パチパチ



▲いざ勝負！豊津の秋の陣。今年も白熱した戦いでした。

▼組体操2019。かなり練習したのでしょね。見事な出来栄でした。



運動会フレイバック



各チーム、この時はまだ自信満々。堂々たる入場行進です。



◎お腹を抱えて笑ってしまうシーン、思わずホッコリするようなシーン、頑張りに拍手したくなるシーン等々、いろいろありました。多くの方の参加、ありがとうございました。



とよつキッズ

田んぼ体験

☆九月三日(火) 稲刈り☆

五月に豊津小の児童たちが自分たちで植えた水稲が実り、稲刈りを体験しました。参加者は二十九人(その内五・六年生が十九人、地域協力者が四人)でした。始めに、協力者の前館長・高安さんから、稲刈りについての諸注意がありました。子ども達は、注意を守りながら、楽しそうに稲を刈り取り、昔ながらのおだかけをしました。

おだに掛けられた黄金色に実った稲穂は、きつと美味しいお米になることでしょう。

慣れない手作業での稲刈りは大変だったでしょうが、日本人の主食お米のありがたさについて、実感できた一日になりました。

※おだかけ
稲などの穀物や野菜を刈り取った後に束ねて天日に干せるよう、木材や竹などで柱を作り、横木を何本か掛けて作ったもの。茨城や千葉ではおだと呼ばれている。



ホタル学習会・見学会

今年もきれいなホタルの光を求め、七月六日(土)の夜、とよつキッズが流れ川を散策しました。

驚いたことに、去年より沢山のホタルを見ることができました。ホタルは飛んできて手の上にも乗ってくれ、みんな歓声をあげていました。

豊津の自然環境が改善されているのが実感でき、参加者は、貴重な体験ができました。(参加人数は八十八人と大勢でした!)



移動教室 七月二十四日

JAXA筑波宇宙センターと国土地理院に行ってきました。

JAXAの宇宙センターでは実物大模型の「はやぶさ」や国際宇宙ステーションを見学、国土地理院では地図記号のクイズラリーを楽しみ、子ども達は興味津々に宇宙体験をしていました。

(参加者 子ども十三人・大人九人)

リトルファーム(収穫祭)十月二十日(日)

初夏に、公民館の駐車場脇の畑に植えたさつま芋が立派に育ち、収穫祭を行いました。

秋も深まり、めっきり涼しい季節となりましたが、収穫祭には、豊津小の児童や保護者が多数出席し、賑やかなものとなりました。掘り起こしたさつま芋は、さつま芋ごはんや、さつま芋汁に料理され、参加者のお腹に納まりました。

皆さん、美味しい料理を堪能し、幸せなひと時を過ごしました。(参加人数は六十一人)



かるためぐりシリーズ②
夫婦の守護神 比咩宮
開運を 願う爪木の 二十三夜尊



め 夫婦の守護神 比咩宮



も 開運を願う爪木の二十三夜尊

爪木の熊野神社の脇に鎮座する比咩宮の祭神・菊理比咩神(くくりひめのかみ)は、熊野神社の祭神・伊邪那美神(いざなみのかみ)と、夫神の伊邪那岐神(いざなぎのかみ)との調和助言をした神として崇められ、『縁結びの神』とされています。一方、二十三夜尊は爪木北側の森の中にあり、水神宮の鳥居をくぐり、正面右に祀られている。二十三夜尊の神様は月読みの神で、仏様は勢至(せいし)菩薩。子育てや子授けの神として崇められる。勢至菩薩は、阿弥陀如来、観音菩薩と一緒に阿弥陀三尊として祀られることが多く、二十三夜に勢至菩薩を拝めば、迷いや苦しみから救われるとされる。

晩婚化・少子化の現代、縁結びや子授けにご縁がある爪木の社に多くの若者が参詣し、ご利益を受けてほしいですね。



▲比咩宮(左)と 二十三夜尊(右)

豊津ハイキング

九月十五日(日)
参加者二十人



昨年に引き続き、今年も高尾山に登りました。今まで何度か高尾山に登っていますが、それまでのコースはケーブルカーを使って登り、歩きで下山するというものでした。しかし、今回は歩いて登り、帰りをケーブルカーで下りてくるという初の逆コース。登山ですから基本は登るものなのですが、登り易いと言われている高尾山とはいえ、運動不足の身には結構きつかったです。でも全員山頂まで登り切り、汗にまみれながらも、満面の笑みを浮かべていました。



豊津の未来を考える

第1回は『福祉』について

今年度の新規事業として企画した「豊津の未来を考える」。第一回目の集まりを、七月三十一日(水)に開きました。市平均よりも少子高齢化が進んでいる豊津地区において、喫緊の課題である『福祉』を最初のテーマとして取り上げました。地区社協(うらら会)と共同で開催し、市介護長寿課、市社会福祉協議会の職員にも協力をいただき、共助(地域での助け合い)について考えました。

市介護長寿課の岡本さんの指導の下、参加者が四班に分かれ、それぞれの班をひとつの小さな村に見立て、その村の中でお互いにどんな助け合いができるか、ゲーム形式でシミュレーションしました。

自分が困っていること、助けてもらいたい事は何か。逆に他人の困っている事で助けられるものはあるのか。短い時間ではありましたが、村の中で共助の関係が生まれることを体験しました。これを実際の地域でも実践できるようにするといいですね。

次回は、『稲作』について年末頃に開催する予定です。



オリンピック開催1年前イベント

2019 KASHIMA
文化交流フェスティバル

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まであと一年。みんなの力を合わせてオリンピックを成功させようと、七月二十八日(日)、まちづくり市民センターで「文化交流フェスティバル」が開催されました。

豊津まちづくり委員会は、オリンピックを楽しむ市民の会の一員として参加。ブラインドサッカーや車椅子バスケットの体験と、豊津地区魅力写真パンフレットプレゼントのコーナーを受け持ちました。

朝のうちは雨、止んだ後は蒸し暑い中、冷房の効かない体育館での実施でしたが、多くの方が参加してくれました。



「とよつだより」を書いてみませんか?

いつも「とよつだより」をご愛読下さり、ありがとうございます。

この広報紙は、豊津まちづくり委員会広報記録部の四名で作成しています。仕事をしながら、空いた時間に文書や写真をワードに打ち込んでいます。ワードを使っていますが、普通に文書作成ができる人なら誰でもできます。

読むだけでは満足できなくて、書いてみたいという方、大々募集中です。希望する方は、豊津まちづくりセンター黒須主事までご連絡下さい。

敬老会

9月14日(土)
於：新仲家



令和初の敬老会が開催されました。大正・昭和・平成・令和の四元号を経験された十三人を含む、七十五歳以上のご高齢者二百五十三人が今年度敬老会の対象者です。新対象者は四人で、その他節目の年を迎えた方々は、喜寿の方が十一人、米寿の方が十人、白寿の方が一人いらっしゃいました。皆さん、おめでとうございます。